

被災地の生徒を修学旅行に！「輝望（きぼう）プロジェクト」へ寄贈

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）は、平成26年2月26日、輝望プロジェクト実行委員会に対して100万円を寄贈しました。

1. 日 時	平成26年2月26日（水）
2. 場 所	神奈川新聞社
3. 寄 贈 先	輝望プロジェクト実行委員会
4. 寄贈金額	100万円

5. 概 要 輝望プロジェクトは、東日本大震災の影響で修学旅行を実施することができなくなっている被災地の小・中学校の生徒を神奈川県内に招待し、修学旅行を楽しんでもらうというものです。

寄贈に当たって伊坂理事長は、「当組合は今までも震災で県内へ避難されている被災者の方々を支援して参りました。子どもたちも神奈川の魅力に触れて元気を取り戻してほしい。」とあいさつをしました。

輝望プロジェクト実行委員会事務局の神奈川新聞社並木裕之専務取締役は「過去、被災された地域の生徒をみなとみらいで公演しているミュージカルやカップラーメンミュージアムなどに招待し大変喜ばれています。被災地の生徒たちの笑顔がみられるよう役立てます。」と感謝を述べられていました。

なお、この寄贈式の模様は、平成26年2月27日付神奈川新聞で紹介されました。

また、神奈川県遊技場協同組合では、震災の影響で神奈川県に避難されている方々には、平成23年7月にエアコンと掃除機のセット385セットを支援した（※1参考）ほか、平成24年8月には福島県大熊町から神奈川県に避難されている方々134名を横浜港ディナークルージング（※2参考）に招待しています。

※1：http://www.kykk.com/org/pdf/11_103.pdf

※2：<http://www.kykk.com/event/cruise2012.html>



寄贈式の模様

神奈川新聞社並木裕之専務取締役（写真左）に伊坂理事長（写真中央）が目録を手渡しました。